

大阪公立大学

# 医学部リハビリテーション学科

理学療法学専攻・作業療法学専攻

# 大学院リハビリテーション学研究所

リハビリテーション学専攻  
(理学療法学領域・作業療法学領域)



人間の「いろいろ」を科学する

寄り添うのは一人ひとりの人生だ

Department of Rehabilitation Science

2026



# リハビリテーション学科

Department of Rehabilitation Science



学科概要

カラダを動かす楽しさを科学する。  
その人らしい  
生き方をデザインする。

地域に根差した高度な学びの中で知る  
人体を科学する面白さと  
一人ひとりの人生に寄り添うやりがい。

## 学びのポイント

### 最先端医学とエビデンスに立脚した 時代を先取りするリハビリテーション教育を実現

最新の知見に基づく医学科との合同授業や相互研究を通して、エビデンスに立脚したリハビリテーション教育を推し進めます。地域社会が求める、生活習慣に起因する複雑な疾患や合併症等の予防・治療はもとより、超高齢社会にも多角的かつ的確に対応できる高い資質の理学療法士および作業療法士を育成します。

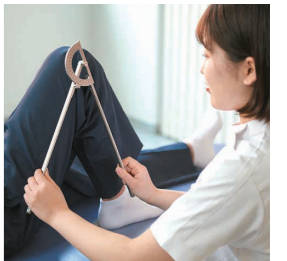
### 研究の最前線で国際的に 活躍できる人材の育成

学術的探究心や自己学習能力を修得するための研究環境やカリキュラムを整え、研究の最前線で国際的に活躍できる人材を育成します。



### きめ細かな教育と 充実した臨床実習

少人数制の特徴を生かし、一人ひとりの専門的知識への興味や進路に応じた学習機会の提供を行うとともに、専門性の高い近畿圏の病院等で実践的な実習を行います。



## 4年間の流れ

### 1年次

基幹教育科目、専門科目(学部共通・学科共通)によって、リハビリテーション学の基礎となる豊かな学士力を養う。

### 2年次

理学療法学・作業療法学専攻が協同して、学科共通専門科目を学ぶことを通じて、リハビリテーション専門職者の役割を理解する。

### 3年次

少人数制による専攻専門科目の学びや臨床実習によって、専門職としての知識・技術を修得する。

### 4年次

専攻専門科目や臨床実習での実践的教育、さらに研究法や卒業研究を通して、臨床および研究の最前線で活躍できる能力を修得する。

基幹教育科目

学部共通専門科目  
学科共通専門科目

学科共通専門科目

専攻専門科目

研究法  
卒業研究

学士(保健学)

※成績優秀者を対象とした学士・修士5年一貫プログラムがあります。(7ページ参照)

# 理学療法学専攻

Course of Physical Therapy



人間の運動を科学する

面白さを知り、

実践的な問題解決能力を

身につける

PICK UP!

## 特徴的な授業



### 理学療法評価学総合実習

地域の障がい者や高齢者に協力いただき、実践的な理学療法評価について体験し、知識と技術を修得します。

学生の声

学生同士で実技の練習をするのは全然違い緊張しますが、とても勉強になります。



### 運動学実習

さまざまな機器を活用し、動作を客観的に見ることの楽しさを体験しながら、理学療法において重要な動作分析を学びます。

学生の声

普段何気なく行っている動作を分析するのは難しいですが、実践的で楽しい授業です。



### 障がい者スポーツ指導論

障がい者のスポーツ活動を学び、障がいに対する理解を深め、実習を交えながら、生活支援としての認識を高めます。

学生の声

パラリンピック競技を実際に体験でき、その面白さや奥深さを感じられる授業です。

## 理学療法学専攻の多様な学び

STUDENT VOICE



3年次から始まるゼミ活動では、理学療法学の中でも自分の関心のある分野について、より深く学ぶことができます。また、私はこれまで本学の部活動において、地域との交流やトレーナーとしての活動に携わってきました。こうした経験を通して、自分のやりたいことに主体的に取り組める環境が整っていることを実感しています。



私は障がい者スポーツに関心があり、1年次から車いすバスケットボールチームでマネージャーとして選手の支援を行ってきました。学園祭での体験会の企画や、世界パラ陸上競技大会のPRプロジェクト、顧客価値共創プログラムなどにも参加し、学内外・専門外の分野でも積極的に挑戦できる環境の中で、多様な経験を積んでいます。



本学の実習施設には、大学病院から地域の病院まで、さまざまな分野の医療機関があります。また、訪問リハビリテーション見学実習では、より生活に密着した在宅での理学療法を経験することができます。多様な分野での経験を通じて視野が広がり、学校で学んだ知識が臨床実習での体験と結びつくことで、理解をいっそう深めることができます。

専攻紹介  
— 理学療法学専攻

## 研究紹介 RESEARCH

講師 森野 佐芳梨

### 産前産後の女性に対する理学療法アプローチに関する研究

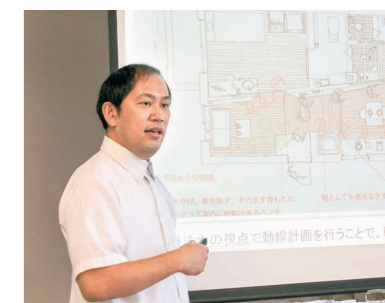
妊娠すると多くの女性が腰や骨盤周りの痛みに悩まされますが、妊娠中は禁忌事項が多く、治療が難しい現状があります。妊娠中の腰痛や骨盤周りの痛みの原因には、体重の増加や妊娠性ホルモンの影響による関節の弛緩等の身体変化が関連しています。これに対し、理学療法アプローチによって非侵襲的に、かつその場しのぎではなく継続的に痛みの緩和ができるよう、調査と研究を行っています。



講師 上田 哲也

### 「医療」×「建築」の融合を図る

高齢者や障がい者等の住まいに関する研究を行っております。理学療法分野からの視点として、加齢に伴う心身機能の変化に着目することが重要であると考えています。その上で、建築、工学、生活科学分野等他分野と協働し、サステナブルな（住み続けられる）住まいの提案を進めています。多職種でチームを組み、「医療」×「建築」の融合を図っていき、その成果を地域へ還元していくことをめざしています。



### 主な就職先 (進学先含む)

- リハビリテーションセンター
- 大学病院 ● 総合病院
- 介護老人保健施設 ● 教育・研究機関
- 大学院への進学

### 取得可能な資格・受験資格

- 理学療法士国家試験受験資格
- 中級パラスポーツ指導員

### 国家試験 合格率

2022年度 100%  
全国平均 87.4%

2023年度 100%  
全国平均 89.2%

2024年度 100%  
全国平均 89.6%

※大阪府立大学実績

# 作業療法学専攻

Course of Occupational Therapy



生活を科学し  
理解することで、  
充実した日常生活の  
再構築を支援する

PICK UP!

## 特徴的な授業



### 作業療法評価学実習

作業療法評価の目的や意義、手法を、主に実技練習を通じて理解し、修得することをめざします。

学生の声

実技の練習が多く、学生同士や時には先輩に手伝ってもらいながら練習します。



### 作業科学実習

作業療法の治療手段となる、レクリエーションや園芸活動について、作業実施の計画や指導方法を修得します。

学生の声

福祉農園での実習などもあり、実践的に、楽しく・おいしく学べる授業です。



### 発達障害作業療法学

発達障害作業療法の主要対象である脳性麻痺児や知的障害児、自閉スペクトラム症児に対する作業療法を、演習・実習を交えて学びます。

学生の声

小テストが多く少し大変ですが、子ども好きにはたまらない授業です。

## 作業療法学専攻の多様な学び

STUDENT VOICE



大阪公立大学作業療法学専攻では、経験豊富な先生達による素晴らしい講義や、模擬実習授業などのハイクオリティな作業療法を学ぶことができます。またこの学科では部活との両立もサポートしていただけるので、最高の大学生活を送ることができます!是非森之宮キャンパスにお越しください!



作業療法では、機能回復だけでなく自分らしく生活できるように支援します。そのため、人それぞれの人生観や価値観を大切に、患者さんとの信頼関係や対話を通してアプローチしていきます。その人の人生に寄り添い「できる」ことを一緒に探していくことも作業療法士の魅力の一つだと考えます。



作業療法では対象者一人ひとりの価値観や生活背景に寄り添いながら、その人らしい生活の再構築をサポートをすることが出来ます。生活に直結するような実践的な支援を行うため、大きなやりがいを感じられるのも魅力の一つです。本学ではそのために必要となる専門的な知識や観点を丁寧に学ぶことが出来ます。

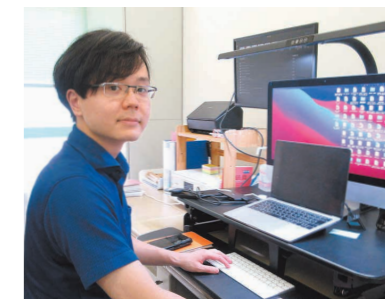
専攻紹介 | 作業療法学専攻

## 研究紹介 RESEARCH

准教授 田中 寛之

### 認知症の人に対するリハビリテーションに関する研究

認知症を呈する多くの疾患は、根治が難しいと言われています。そのため、作業療法をはじめとした非薬物的なリハビリテーションの重要性が増しています。我々の研究室では、臨床現場の作業療法士と協働し、認知症の人の生活障害や行動心理症状に対するリハビリテーション介入手法、認知機能障害、生活の質を測定する評価手法の開発の研究を行っており、臨床と研究をつなぐ成果を挙げることをめざします。



講師 中岡 和代

### 特別支援教育や発達領域の作業療法に関する研究

特別支援教育や発達領域の作業療法に関する研究に取り組んでいます。これまで、自閉スペクトラム症児の食に関する行動の評価尺度を開発してきました。現在は、発達領域の作業療法で関わるすべてのお子さんの行動特性、感覚特性、認知特性などについて分析し、食に関する行動の支援法の開発を進めています。また、お子さんやご家族の遠隔支援の実現に向けAIを用いた動作解析の開発などにも取り組んでいます。



### 主な就職先 (進学先含む)

- 病院
- リハビリテーションセンター
- 訪問リハビリテーション施設
- 介護老人保健施設
- 児童発達支援センター
- 大学院への進学

### 取得可能な資格・受験資格

- 作業療法士国家試験受験資格
- 中級パラスポーツ指導員

### 国家試験 合格率

2022年度 100%  
全国平均 83.8%

2023年度 100%  
全国平均 84.4%

2024年度  
96.2%  
全国平均 84.1%

※大阪府立大学実績

# 大学院リハビリテーション学研究科

Graduate School of Rehabilitation Science



現代社会で求められる  
より生活に密着した  
新しいリハビリテーション学を

PICK UP!

## リハビリテーション学研究科の3つの強み

### 1. 研究施設・設備の充実

三次元動作解析装置、筋機能評価運動装置、超音波画像診断装置、脳波計、ドライブシミュレーターなど、最新の研究設備を整えています。

### 2. 共同研究の充実

学内の他学部・他研究科や、大学を中心とした国内外の研究施設、さらにさまざまな医療機関や企業との共同研究に取り組み、多くの成果を挙げています。

### 3. 地域貢献の充実

医療機関や特別支援学校、自治体等と共同し、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。これらの取り組みは、研究フィールドとしても活用しており、今後さらなる発展が見込まれます。

### 学士・修士5年一貫プログラム

本研究科では、博士前期課程科目の先取り履修と早期修了を組み合わせ、学科入学から通算5年間で博士前期課程を修了する「学士・修士5年一貫プログラム」を設置しています。具体的には、リハビリテーション学科理学療法学専攻または作業療法学専攻に3年以上在学し、極めて優秀な成績を収めた学生を対象とし、学士課程の4年次前期から本研究科博士前期課程科目の「先取り履修」と研究活動を開始します。通常の大学院入学試験を経て本研究科博士前期課程に入学し、優れた業績を挙げて1年間で早期修了をめざすプログラムです。

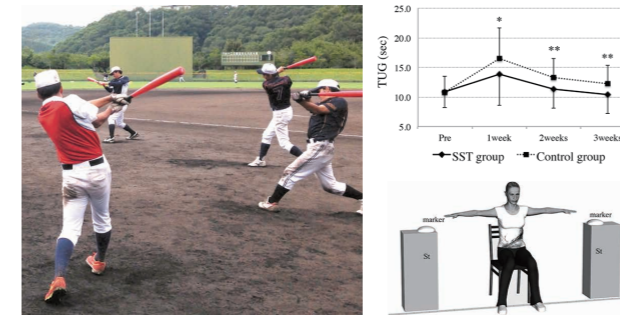
## 特色ある研究テーマ

### 「人」のパフォーマンス向上を目的とした研究

理学療法学領域  
岩田 晃 教授



人はそれぞれの生活の中で必要とされる能力が異なります。例えば、スポーツ選手は速く走ることや、高く跳ぶことなどハイレベルな運動パフォーマンスが必要とされ、一方、高齢者は安全に動作することや、速く歩くことなど、基本的な運動能力が求められます。一見すると、これらの運動は大きく異なるように感じますが、その規定要因やメカニズムには多くの共通点が存在します。私は、運動パフォーマンスの規定要因を多面的に探索し、組み合わせることで、高齢者からスポーツ選手まで、「人」の運動パフォーマンス向上をめざす研究に取り組んでいます。



### 認知機能低下抑制の研究、地域在住高齢者の転倒予防

作業療法学領域  
横井 賀津志 教授



私の研究は、高齢者の健康寿命を伸ばすためのフィールドワークです。中でも、寝たきりや要介護の状態になる原因の上位を占める「認知症」と「転倒」に関する予防活動に力を入れています。認知症予防では、「朝起きたら自分で入れたコーヒーを飲む」とか「ペットと一緒に寝る」など、「これができれば、自分らしい」というその人が大切にしている作業と一緒に見つけ、継続するための手立てを開発しています。さらに、生活行動の中に認知刺激を組み込む研究も開始しています。転倒予防では、新聞紙を用いた体操「転ばぬ先の新聞棒」を開発し普及に努め、健康寿命を伸ばすことに貢献しています。



## STUDENT VOICE

### 医療の発展に向けて、研鑽を積む

私は、理学療法士をめざして大学でリハビリテーションを学ぶ中で、より良い医療の提供にはそれらの根拠となる研究の発展が不可欠であることを実感し、大学院でリハビリテーション学研究に取り組むことを決めました。現在は、運動参加が困難な虚弱高齢者でも簡単に取り組める新たなリハビリテーション手法として、「低負荷運動」や「他動運動」による高齢者の歩行機能改善をめざした研究を行っています。さらに、所属研究室が企業と共同で取り組んでいる「中高年の歩行改善に向けたサービス・プロダクトの研究開発プロジェクト」に参加するなど、充実した研究生生活を送っています。

博士後期課程(2023年度修了) 金山 篤樹 さん



### 作業療法の学びを深め、より多くの人を笑顔に

作業療法士として臨床経験を積む中で、一人でも多くの患者様から笑顔を引き出したいという思いが強くなり、評価手法や治療法、ヒトの脳内活動のメカニズムを研究しようと大学院進学を決めました。授業で研究に関する基礎知識や先生方の研究を学び、ゼミナールで指導教員や先輩達からアドバイスをいただく中で、研究内容に関する知見と視野の広がりを感じました。現在は大阪大学と共同で、VR(バーチャルリアリティ)を用いた回想法(昔を懐かしむことで認知症症状の改善をめざす治療法)の研究を行っています。国内外の学会発表や論文執筆など、未来につながる貴重な経験を積んでおります。

博士後期課程 上野 慶太 さん

## 大学院リハビリテーション学研究科 主な研究分野

### 理学療法学領域

- **運動科学、スポーツ科学**  
岩田 晃 教授
- **高齢期リハビリテーション、老年学**  
樋口 由美 教授
- **運動制御、運動学習、神経系理学療法**  
平岡 浩一 教授
- **運動療法、運動器理学療法**  
淵岡 聡 教授
- **成熟期シナプス可塑性、管腔臓器の内臓感覚調節機構**  
宮井 和政 教授
- **介護予防、健康教育、疫学**  
上村 一貴 准教授
- **障がい者スポーツ、脳性麻痺・脊髄損傷のリハビリテーション**  
片岡 正教 准教授
- **高齢者の転倒予防、福祉住環境整備**  
上田 哲也 講師
- **内部障害リハビリテーション、急性期リハビリテーション**  
音部 雄平 講師
- **運動器理学療法、スポーツ理学療法**  
杉山 恭二 講師
- **ウィメンズヘルス理学療法、バイオメカニクス**  
森野 佐芳梨 講師

### 作業療法学領域

- **臨床神経生理学(脳波)、精神科リハビリテーション**  
石井 良平 教授
- **脳卒中後上肢麻痺のリハビリテーション**  
竹林 崇 教授
- **発達障害の作業療法、特別支援教育と作業療法、家族支援**  
立山 清美 教授
- **認知・行為障害の作業療法、臨床神経生理学(特に事象関連電位)**  
内藤 泰男 教授
- **高齢者の認知機能低下予防、転倒予防、作業科学**  
横井 賀津志 教授
- **認知症、高齢期作業療法、高次脳機能障害**  
田中 寛之 准教授
- **認知神経科学(脳波)、認知機能、精神科リハビリテーション**  
井上 貴雄 講師
- **臨床神経生理学(脳波)、高次脳機能障害、後天性脳損傷者のリハビリテーション**  
上田 将也 講師
- **身体障害作業療法(日常生活動作)、福祉用具、障がい者の災害対策**  
小島 久典 講師
- **統合失調症の認知機能、内受容感覚**  
田中 宏明 講師
- **こども/神経発達症の作業療法、インクルーシブ教育と作業療法、食行動支援、尺度開発**  
中岡 和代 講師

# CAMPUS LIFE

## 森之宮キャンパス



コンセプトは「知の森」。良好な交通アクセスかつ大阪の東西都市軸の東部重要拠点である森之宮に立地するメインキャンパスとして、2025年秋に開設します。医学部リハビリテーション学科、大学院リハビリテーション学研究科の他、国際基幹教育機構、文学部、大学院文学研究科、生活科学部食栄養学科、大学院生活科学研究科食栄養学コースが移転し、全学部・学域の基幹教育を森之宮キャンパスにて実施します。

- JR大阪環状線「森ノ宮」駅下車、徒歩約13分
- Osaka Metro中央線 長堀鶴見緑地線「森ノ宮」駅下車、徒歩約13分



キャンパス・イメージ  
ステージスクエア



学生の声  
高精度な装置で動作をいろんな角度から分析できるので面白いです。授業や卒業研究でも使います。



学生の声  
トランポリンやブランコなどの遊具がたくさんあり、ついつい遊びたくなる教室です。

## STUDENT VOICE



### 学びの深化と仲間との絆が共に育まれる環境

理学療法学専攻の魅力は、少人数クラスで先生との距離が近く、実技の授業でも一人ひとりに丁寧な指導が受けられることです。4年間同じ仲間と学ぶ中で、協力し合いながら関係が深まり、頑張る仲間から刺激を受けて自分も成長できます。先輩や後輩とのつながりも強く、勉強以外の楽しい思い出ができるのも魅力の一つです。理学療法士をめざす皆さんを応援してくれる環境がここにはあります。ぜひ、この温かい大学で一緒に学びましょう!



### 臨床の場に必要なが身につく

通常の講義に加えてロールプレイなど実践的な授業が多く設けられており、臨床の場で必要な知識や技術をしっかりと学べます。さらに学生同士の意見交換やプレゼンを通して、リハビリテーション・作業療法への関心と理解を深めることで、広い視野で物事をとらえることができるようになりました。少人数制で、先生方に質問がしやすく丁寧な指導をいただけるのも、この大学の魅力の一つだと思います。